



新たなコートを生み出す北風政策 ~米国の食品規制で起きていること~

長い人では9連休という大型となった今年5月のGW。全国的に天候にも恵まれ、自らの家庭菜園やガーデニングで汗した方も多いのではないだろうか。一般に家庭菜園というと、自宅の庭やレンタル菜園で楽しむ程度という姿を連想するが、農林水産省の統計によると、国内の215万戸の農家の内、年間50万円以上の販売高がある専業農家は、133万戸(61%)で、それ以外の82.5万戸は作物を売るのではなく、10aに満たない畑で主に家族や身内の食料として生産している自給的農家、すなわち広義の家庭菜園である。米国では、2011年に「米食品安全近代化法(食品安全強化法)」という法律施行後、こうした小規模生産の無農薬有機栽培野菜や水耕栽培の作物にビジネス機会が訪れている。特に輸入食品への規制が厳しくされた近代化法では、同時に国内の野菜や果物など生鮮品の安全対策も強化された。

生産者は、野菜を無菌の状態出荷するために農薬による殺菌や消毒を行わなくてはならず、有機栽培や自然農法を手掛けてきた生産者にとっては、経営方針の根本的な修正を迫られるほどの大きな問題となっている。ただし、この法律には、275マイル(442km)以内の消費者(直



Volksgarden ドラム栽培システム

売店・レストラン含む)に販売する、売上が50万ドル以下の事業者には適用が緩和される措置が設けられているため、都市近郊の家庭菜園規模の有機野菜にさえニーズが高まっているのだ。さらに、無農薬で鮮度の高い食材を安定的に確保したいレストランの中には、自家製の野菜を栽培する「自産自消」の動きも出てきている。ここでは、店舗や倉庫などの屋内、ビルの壁面などを有効利用したZipGrow社を代表例とする「垂直水耕栽培農法」システムや、スプラウト栽培にも似た中央に光源のある円筒のドラム型ユニットを用いて通常よりも5倍のスピードで促成栽培をする新たな装置がトレンドとなっている。規制緩和、自由貿易というこれまでの太陽の日差しのような成長セオリーから、規制強化、保護主義という極めて北風チックな政策が新たなビジネス市場や栽培システムの開発を促しているのはなんと今風だ。

ココに技あり!

地道な努力に光を! 技術発表会

当社では毎年、全社員と社外のオブザーバーも出席する「新規分析技術・改善事例発表会」を開催しています。今年で11回目となるこの発表会は、分析や測定技術者だけでなく営業部門やIT部署も含めての通常業務に隠れた地道な研究開発・ユニークな活動モデルや品質・効率・安全への改善事例をプレゼンするものです。発表者のプレゼンテーション能力や要旨を整理する力、ひいては会社全体の技術者マインドを向上させることを目的として始まりました。選ばれた数名により学会発表と同じ形式で行われ、出席者から全く遠慮のない質問が飛び、最後には技術顧問の皆さんからの厳しい講評、そして社員の投票によって最優秀賞・優秀賞者の表彰も



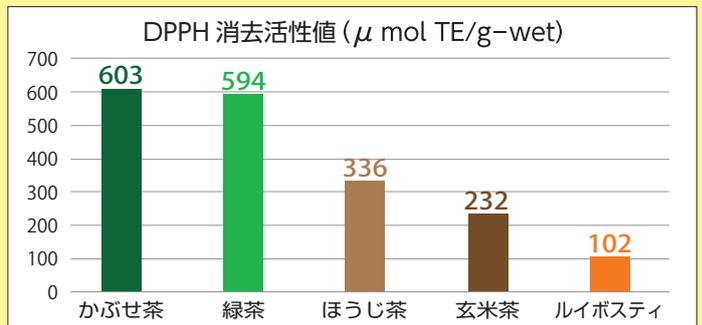
されるため、年を追うごとにレベルも上がっているようです。今後もお客様の多様なご要望にお応えする技術を持った人材育成の機会として、この発表会をグレードアップしていく予定です。



測ってみよう! 探検隊 Vol.57

かぶせ茶には抗酸化物質が他のお茶よりも多く入っているの?

新茶が美味しい季節となりました。伊勢の誇るお茶『かぶせ茶』には「抗酸化物質」が多く含まれると言われています。抗酸化活性を測定する方法は数種類あるのですが、今回は DPPH (ジフェニルピクリルヒドラジル) という物質を用いる方法で測ってみました。結果は下記のとおりで、お茶の種類によって抗酸化物質質量に差があることがわかります。カテキン・テアニン・ビタミン類・ポリフェノールなどが抗酸化物質と言われています。



社員プチコラム

後藤 野絵 (営業本部 CS営業部 本社CSグループ)

少し前に流行った片付けコンサルタントの「こんまり先生」をご存知ですか?心がとまめくモノだけ残しましょう、という考え方。それによると、断捨離しにくい思い出のモノはデータ化すれば場所を取らないとの事。先日結婚式に伴い生い立ちムービーを自作する際、昔の写真をスキャンしました。写真もネガも全部取り込んで2,000枚を超える写真が1枚のDVDに収まり、保管してあった場所はスッキリ。プリント派・データ派それぞれだと思いますが、パソコンで手間なく検索出来たり見られる点が私は気に入っています。



編集後記

先月号のコラムにあげられていた「お伊勢さん菓子博」は大盛況だったようで、行かれた方も多いのではないのでしょうか。あまりの行列で私は並べなかったのですが、お茶席では和菓子と一緒に「伊勢茶」を味わうことができたようですね。私もたまにはコーヒーではなく、お茶を味わいたくなるような今月の測ってみようでした。(みっちー)

